



平成24年11月9日

各 位

会社名 株式会社オービック
代表者名 代表取締役 野田 順 弘
 会長兼社長
(コード番号 4684 東証第1部)
問合せ先 専務取締役 加納 博 史
 経営企画室長
電話番号 03-3245-6510

過年度有価証券報告書等、決算短信等の訂正に関するお知らせ

このたび、当社が過去に発表いたしました有価証券報告書、四半期報告書、決算短信、及び四半期決算短信において訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容および理由

当社の保有している私募社債（ARUJI GROUP株式会社 第1回私募方式普通社債・元本120億円）について、過年度決算における貸借対照表計上額の算定に要した情報に誤謬があった事実が判明しました。

第45期第3四半期（2011年12月期）決算において、連帯保証人である外国企業の決算情報及びその後の変動状況の確認により、十分な回収可能性が見込めると判断しておりましたが、直近に受領した同社の最新決算書から、同社が2011年12月時点で債務超過であった事実が判明しました。その後、事実関係の確認に努めた結果、その原因として連帯保証人の財政状態を構成する重要な資産（プロジェクト）が低廉で譲渡されていたことなどが判明しました。また、このような重要な情報が連帯保証人から適時に提供されておませんでした。

上記事実から連帯保証人の信用力が著しく低下していたため、提出された決算書などの財務情報を評価の基礎情報として利用することができなくなりました。

その結果、金融商品会計に関する実務指針（会計制度委員会報告第14号）に基づき回収可能額を裏付ける根拠が立証できないため、会計上は当該社債の回収可能性が無いものと評価すべきであると判断しました。

当社の会計監査人と協議した結果、情報に誤謬のあった2011年12月の当社第45期第3四半期決算まで遡り、当該社債の元本120億円及び未収利息12億67百万円、合計132億67百万円の全額を投資有価証券評価損等として減損処理することを決定いたしました。

この結果、第45期本決算（2012年3月期）、第46期第1四半期決算（2012年6月期）も併せて訂正いたします。

過年度の業績等への影響については、現在精査中であります。損益計算書については、各期とも売上高、営業利益、経常利益への影響はありませんが、昨年度の第45期第3四半期決算（2011年12月期）、第45期本決算（2012年3月期）における当期純利益（四半期純利益）の減少となります。貸借対照表については、各期とも総資産及び純資産の減少となります。

なお、当期第46期第2四半期（2012年9月期）においては、損益計算書に及ぼす影響はありませんが、貸借対照表については、総資産及び純資産に今回の訂正内容が反映されます。

2. 訂正する有価証券報告書等

四半期報告書	第45期第3四半期	（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
有価証券報告書	第45期	（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）
四半期報告書	第46期第1四半期	（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

3. 訂正する決算短信等

四半期決算短信	第45期第3四半期	（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）
決算短信	第45期	（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）
四半期決算短信	第46期第1四半期	（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

上記開示書類の訂正につきましては、現在作業中であり、当期第46期第2四半期（2012年9月期）決算発表とあわせ、平成24年11月14日の開示を予定しております。

株主・投資家及び市場関係者の皆様には、ご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

以上